

第42回

印刷年始会

2020



日 時 令和2年1月24日(金)
17:30～

場 所 城山ホテル鹿児島
「アメジスト」



開催事務局 鹿児島県印刷工業組合

第42回 印刷年始会プログラム

司会 月野 るり子

開 会

国家斉唱

祝 宴

香月 保乃様

松本 圭使様

主催者挨拶

鹿児島県印刷工業組合理事長

岩重 昌勝

来賓紹介

祝 辞

鹿児島県知事

三反園 訓様

鹿児島市長

森 博幸様

祝電披露

開 宴

乾 杯

鹿児島県印刷工業組合
官公需対策担当顧問

崎元 博典様

中 締 め

鹿児島県印刷工業組合
官公需対策担当顧問

福司山 宣介様

来賓ご芳名

◇鹿児島県知事

三反園 訓様

◇鹿児島市長

森 博幸様

◇日置市長

宮路 高光様

◇鹿児島県中小企業団体中央会

専務理事 永田 福一様

◇中小印刷産業振興議員連盟

衆議院議員 宮路 拓馬様

◇中小印刷産業振興議員連盟

森山 裕 事務所 常任幹事 二川 宏昭様

◇日本銀行鹿児島支店

支店長 上口 洋司様

◇株式会社商工組合中央金庫鹿児島支店

支店長 平田 知伸様

◇株式会社日本政策金融公庫鹿児島支店

中小企業事業統轄 野頭 賢一様

◇株式会社鹿児島銀行

常務取締役 碓山 浩美様

◇株式会社島津興業

取締役相談役 島津 公保様

◇鹿児島県印刷工業組合官公需対策担当顧問

鹿児島県議会議員 福司山 宣介様

◇鹿児島県印刷工業組合官公需対策担当顧問

鹿児島市議会議員 崎元 博典様

友好参加者

◇医療法人聖心会かごしま高岡病院

理事長 高岡 茂様

◇畑野労務管理事務所

所長 畑野 昌作様

◇城山観光株式会社

専務取締役総支配人 重留 伸哉様

◇株式会社KRC(富士火災)

集団扱い担当 黒田 従久様



※お願い 3010運動推進の為、乾杯のあと30分、最後の10分は皆で食べる時間を設けましょう。

※来賓ご芳名は順不同とさせていただきます。

印刷年始会に寄せて



鹿児島県印刷工業組合
理事長 岩重 昌勝

皆様、明けましておめでとうございます。

令和2年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

組合員並びに賛助会員そして関連産業の皆様にかかれましては平素より組合活動へのご理解とご協力を賜り心より厚く感謝申し上げます。

さて昨年を振り返りますと米中貿易摩擦、日韓の対立の長期化、米イランの緊張、香港での反政府デモの激化と区議選の民主派の圧勝、英国のEU離脱合意、トランプ米国大統領の弾劾訴追と各国ともポピュリズムが台頭し、外交が機能不全となる一年でした。

また世界遺産であるパリのノートルダム寺院が火災で尖塔が焼け落ち、同じく世界遺産である沖縄の首里城も正殿、北殿が焼失し、多くの人々が悲しみに暮れました。

国内に於いては、新天皇即位と改元がなされ、合わせて先の天皇が上皇となり、皇室の新たな形が始まりました。統一地方選と参議院選挙も行われ、与党の勝利ではありましたが、改憲勢力は三分の二を割り込みました。しかし安倍首相の在職期間は桂太郎を抜き歴代最長を更新中であり、諸外国での存在も非常に大きくなっております。消費税も10%となり食料品の軽減税率やポイント還元が実施されました。

またラグビーワールドカップが初めて開催され初のベスト8となり多くのファンを獲得し、ヨーロッパを中心とした多くの外国人が来日しました。本年は東京オリンピック・パラリンピックイヤーであり、より多くの外国人が我が国を訪れます。またそのオリンピックで活躍した日本人選手たちが出身地代表として10月に開催される鹿児島国体へ参加します。鹿児島県にとっても非常に価値あるイベントであり、この48年ぶりのビッグチャンスをビジネスに活かしていかなければなりません。

今後は社会が地球環境に配慮した「脱プラスチック」を掲げ、リサイクルする社会、プラスチックに替わる「紙」を素材とする生活物資への回帰も始まることとなります。ブランドスローガン「Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」を掲げ、待ったなしの「幸せな働き方改革」を実現し、若い世代に集まってもらえる産業を構築するために『印刷業界』が変化していかなければなりません。

鹿児島県印刷工業組合は本年も皆様の羅針盤であり、且つエンジンとして活動して参りますのでどうか宜しく願い申し上げます。

結びに本年が皆様にとって実り多き素晴らしい一年となりますよう祈念して新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶



全日本印刷工業組合連合会
会長 白田 真人

新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は当連合会に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、本年も一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年10月に開催いたしました「全印工連フォーラム」には、全国から300名を超える方々にお集まりいただき、全印工連事業をより一層ご理解いただくとともに、あわせて全印工連の団結力と協調を再確認することができました。これも偏に全国の印刷工業組合の役員、組合員、関連業界の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、印刷用紙価格の値上げ問題に始まり、改元、統一地方選挙・参議院議員選挙、G20サミット、ラグビーワールドカップ日本大会、そして消費税の増税と、次々と大きな出来事があった年でした。

このような中、全印工連では、ブランドスローガン「Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業～」を掲げ、全国の組合員企業の1社1社がHappiness Companyを目指すことを目的に、待ったなしの「働き方改革」を実行するため、そのプロセスを発信し、さらには、対内外の広報の強化や事業承継支援、環境労務対策、組合員および各種共済制度の加入促進、各種教育事業の実施、ダイバーシティ・マネジメントによる多様な人材の活用、CSR普及・啓発活動、資機材問題への対応、官公需対策、遠隔セミナーの実施等、個企業単独では取り組むことが難しい課題解決に努めてまいりました。

東京オリンピック・パラリンピックイヤーとなる本年も引き続き、当連合会のブランドスローガン実現に向け、中小印刷産業の向かうべき方向性を共有し、人々の幸せを作り続ける印刷産業を実現するための諸事業に取り組み、その中心事業となる「幸せな働き方改革」においては、総仕上げとなるSTEP4・5の完成と実行を着実に進めていきます。日本全国のHappiness Companyの集まりがHappy Industryへと繋がり、将来を担う若者たちが憧れ、夢を持つことのできる魅力的な産業となるよう、日本全国の組合員企業とともに、全印工連の大きな組織力を存分に活かした事業活動に全力で取り組み、全国の組合員企業の皆様のお役に立てるよう一層精進してまいります。

2020年が皆様にとって明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

年頭のご挨拶



鹿児島県中小企業団体中央会
会長 小正 芳史

令和2年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

かねてより本会の事業推進につきまして、多大なるご支援ご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。また、昨年11月7日に開催いたしました第71回中小企業団体全国大会では、県内外より3,000名近い中小企業関係者の方々にご参加いただき、盛会裏に終了することができましたことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、元号が変わる大きな節目でしたが、大雨や台風等の災害を目の当たりにし、インフラ整備と事業継続計画の重要性を痛感させられました。

また、経済面においては、中国経済の失速、米中貿易摩擦による世界経済の停滞など予断を許さない状況が続いています。加えて、昨年10月の消費税増税に伴う国内消費の落ち込みと企業の収益悪化が懸念されています。さらに、都市圏の人口集中が顕著化しており、地方の人手不足はますます深刻化しています。

貴業界においては、書籍のデジタル化や印刷の内製化による印刷需要・紙需要の減少、原材料費や流通コストの高騰並びに、企画・デザイン力を強化する「高付加価値化」と通信販売を中心とした「低価格化」の二極化が進展していますが、消費者ニーズを的確に捉え、最新技術や設備を積極的に導入するなど、組合員一丸となって販路開拓・需要拡大に努めることが不可欠です。

このような中、今年は「東京2020オリンピック・パラリンピック」が、本県でも「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されるため、景気浮揚のきっかけとしたいものです。

なお、本会では、従来の組合設立・運営支援に加え、ものづくり補助金の地域事務局として、引き続き県内中小企業の生産性向上を促進し、本県経済の振興・発展に寄与して参る所存です。

結びに、この一年が皆様方にとりまして、さらなる飛躍の年となりますことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和2年1月10日号 第71号

第71号

令和2年1月10日発行

全印政連

発行/
全日本印刷産業政治連盟
〒104-0041
東京都中央区新富1-16-8
電話 (03) 3552-4771
FAX (03) 3552-7727



年 頭 挨 拶

各地での政治とのパイプが全印政連のパワーに

全日本印刷産業政治連盟 会長 木村 篤義

令和2年の始まりに当たり、まずは、ご即位された新天皇皇后両陛下の弥栄を心よりお祈り申し上げます。そして、全印政連会員の皆さまにおかれましては、限らない期待を胸に新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私は会長を拝命して2度目の新年となりました。旧年中の格別なるご理解・ご支援に厚く御礼申し上げるとともに、皆さまのなお一層の前進をご祈念申し上げます次第です。

また、自由民主党・中小印刷産業振興議員連盟の国会議員の皆さまには、中小印刷産業の健全なる発展・向上に向け、継続的なお力添えを賜り、御礼申し上げます。併せて、関係省庁、関係団体等の皆さまには多大なるご尽力をいただき、改めて感謝申し上げます。

さて、全印政連は平成11年7月に発足いたしました。その役割の重要性は年を追うごとに次第に増していると実感させられます。

平成29年の「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」に官公需における知的財産権の適切な取り扱いが明記されたことを受け、全国の印刷組合員の皆さまが官公庁に対し積極的な啓発活動を展開した結果、昨年までに、各地で発注仕様書に反映されるなど、大きな進展が見られました。この流れが全国隅々にまで浸透するよう、引き続き、積極策を推進していく必要があります。

知的財産権の実務上の具体的な課題としては、電子化データの所有権の明確化がクローズアップされてきています。印刷用の元データと、印刷データとして転用可能な高解像度PDFデータは、取引条件として納品が求められる場合でも、契約上の使用目的が明確でない、もしくは「増刷」とされているにもかかわらず、無償提供を求められるケースが多い現状があります。また、低解像

度PDFデータでも、使用目的が契約書に掲載されないことが多いのが実情です。

印刷会社が制作したデータはさらなるビジネスに展開していける大切な知的財産です。適切な取り扱いを実現するため、各地で粘り強い交渉を進めていかなければなりません。

昨年は、自民党議員連盟の皆さまのお力をあらためて実感する年でもありました。2月に開催していただいた議連総会で、製紙各社による再生紙の減産や生産中止が印刷業界におよぼす影響についてご議論いただきました。全印政連と全印工連から「顧客からグリーン購入法の基本方針に対応する用紙を使用するように求められても、入手できない事態が発生している」と報告したところ、日を置かず、環境省より、調達が困難な場合には代替品を認めるとの措置が、各府省庁・独立行政法人等に向け発出されました。

このように私どもだけでは解決できない様々な問題を行政に反映させて頂くことで、その問題の解決や新たな方向性を見出す事が出来ます。その為には業界団体の悩みを受け止めて行政に橋渡しをして頂ける自民党議員連盟の力が益々重要となっていきます。

中小印刷業界には著作権の帰属をはじめ、入札での最低制限価格制度や地元優先発注、SR調達など、解決したい課題がまだまだ山積しています。各地で皆さんが築いている議員の皆さんとの信頼関係は、今年も全印政連の大きなパワーとなっていくに違いありません。全印政連は会員各位の要請をくみ上げる努力を継続するとともに、しっかりと皆さまのサポートを推進してまいります。

今年も全印政連の活動に一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

「成長戦略」の旗振り役「全印工連も中核に」

令和元年度「勉強会」宮下一郎副大臣・議連事務局長が講演
「人口減少・長寿社会」に対応する政策を解説

全印政連は令和元年11月14日、東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で「令和元年度勉強会」を開催した。宮下一郎内閣府副大臣（自民党中小印刷産業振興議連事務局長）が、人口減少・長寿社会を迎える中での政府の成長戦略について解説した。続いて、全印工連の白子欽也官公需対策協議会議長が、官公需契約でのPDFデータの提供について、現在の問題点や解決策を報告した。

宮下副大臣は経済再生、全世代型社会保障改革、経済財政政策、金融庁を担当しており、わが国が人口減少・長寿社会の大転換期に差し掛かる中で、成長戦略推進に重要な役割を担っている。講演では「成長戦略で明るい日本に！」をテーマに、政府がさまざまな分野で同時進行させている施策について概要を説明した。



▲宮下副大臣・議連事務局長

宮下副大臣は冒頭、<2050年に日本の総人口が約9,515万人にまで減少した時、65歳以上の人口が39.6%まで増えている>との予測データを示しつつ、「人口が減ることよりも問題なのが年齢構成だ。もっと多くの皆さんに社会を支える側に回っていただかないと持たない世の中になっている」と課題を強調した。

具体的な施策としては、令和元年6月に閣議決定された「成長戦略実行計画」のポイントを解説した。

まず、「Society 5.0の実現」を挙げ「データと実際の社会が融合した新しい暮らしやすい社会をつくっていくこと」「外国人材の活用」などを通じて「社会を前に進めていきたい」と語った。

「全世代型社会保障改革」については「人生100年時代を見据え、70歳までの就業機会の確保や疾病予防、介護予防に産業界の皆さんと一緒に取り組んでいきたい。それと同時に企業の経営も支える必要がある。その両にらみで考えていく必要がある」と方向性を示した。

また「地方の人口減少が非常に厳しい」と指摘し、「地方施策の強化」の在り方についても説明した。地域経済を支える中小企業・小規模事業者の役割が「政府としても一番重要だ」と述べた。さらに、交通インフラの整備や規制緩和などを通じ「観光立国」に本気で取り組む必要性を説いた。「全国各地で、交流人口・観光人口を

増やすとともに、海外からの客を招き入れて、文化や食、自然を感じていただくようなビジネスモデルを展開していかなければならない」と考えを示した。

続いて、革新的技術を生かして実現される将来の社会の姿について語った。「デジタルファースト・ワンズオンリー」をコンセプトに改革に着手されている行政の手続きや、医療システム・介護、農業、モビリティサービス、ロボットによるソリューション、物流などの分野でスマート化が実現し「一人一人のニーズに合わせたサービスが提供されることで、社会の課題解決と成長がもたらされる」と強調した。

宮下副大臣は終わりに、全印工連に対し期待を寄せた。「新しい世の中を実現するのは今がチャンスだ。皆さんがその後押しや旗振り、応援をしてくださいれば、各地域でいろいろな産業が前に進みだせるのではないかと。われわれとしてはそうした新しいことに取り組む皆さんを優先してしっかりと支援していきたい。これが成長戦略の基本でもある。今こそ、『やってみよう』『何とかなる』の気持ちが必要な時だ。皆さんにはぜひ、その中核として活躍いただきたい」と熱を込めた。

白子官公需議長、PDF提供のポイントを整理

低解像度PDFの「条件付き提供」を提案
元データや高解像度PDFの権利アピールにも

知的財産権の財産的価値への配慮が盛り込まれた平成29年度の「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」発表後、官公需契約での知的財産権・中間生成物の扱いに改善が見られるものの、「官公庁に対しPDFデータを提供することが非常に多く、その場合に少々混乱がある」との声を受け、白子議長は現在の問題点や解決策を説明した。

白子議長はまず、PDFデータの扱いについて「われわれが作った知的財産権は価値のあるものであり、これからのビジネスに展開していけるものだ。非常に



▲白子官公需議長

重要なものなので大切にしていかなければならない」と位置付けた。

最近の課題としては「契約書に『著作権を無償譲渡せよ』といった文言はさすがに見られなくなったが、具体的な利用目的や媒体、数量、期間等の明確な記載はほとんど見られず、ひとくくりに『著作権は果に帰属する』といった表記が多い」と指摘した。

官公需対策協議会は印刷会社が制作する電子化データを①元データ（印刷用データ＝中間生成物）、②高解像度PDFデータ（印刷データとして転用可能＝二次加工物）、③低解像度PDFデータ（ホームページ掲載・内製資料として使用可能＝二次加工物）に分類しており、白子議長は「官公庁がPDFデータの提供を要望する場合、低解像度のものがあれば良しとするケースが多い。権利侵害がないように発注側で注意していただければ渡してもいいのではないかと」考えを語った。

また、低解像度PDFデータの提供時のポイントとしては、「契約書・仕様書等に記載以外のデータの二次使用、権利侵害がないよう、使用許諾書を発行するなど、発注者側に注意喚起する」「可能なら、権利侵害を防ぐため、目的外のデータ使用を制限したパスワード付きPDFデータを提供する、あるいはそうしていると先方に伝え、協議できればいい」と2点を挙げた。

さらに「低解像度PDFデータを一定の使用制限を付けた形で官公庁に提供することは、官公需事業が公益に資するものであることと、官民両者の信頼関係を維持していく上で必要と考えている。提供するということが逆に、元データと高解像度PDFデータの権利は受注側にあるという事実のアピールになる。そうした形で低解像度PDFデータを積極的に使っていければいいのではないかと考えている」と述べた。

自民党議連と「交流会」

全印政連（木村篤義会長）と自民党中小印刷産業振興議員連盟（中曾根弘文会長）は令和元年11月14日、東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で、全印政連「勉強会」終了後、恒例の「交流会」を開いた。同日行われた「大嘗祭」の合同を機に、議連所属議員42人が参加した。

全印工連の白田真人会長はあいさつで「印刷産業は各都道府県で、事業所数が製造業の中で1位から3位となっている地域の地場産業だ。そして、地域経済を何とか支えていこう、企業を永続的に経営していこうという経営者が集まっている。議連の皆さんには一層のご理解とご支援をお願いしたい」と語った。

その後、木村会長の発声により乾杯。交流が進む中、出席議員と議員の選挙区である地元の理事長と一緒に登壇し、議員から中小印刷業界への応援メッセージが述べられた。

業界・政策ニュース

天皇陛下御即位「祝賀式典」に参列

全印政連の木村篤義会長は令和元年11月9日、皇居前広場で開催された「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」に参列した。天皇皇后両陛下のお出ましを仰ぐ中、来賓、全国各界各層の代表が祝福した。

当日は、各界からの祝辞や御即位奉祝曲の奉呈などが行われた。

木村会長は「天皇陛下御即位奉祝委員会」（名誉会長＝中西宏明日本経済団体連合会会長、会長＝三村明夫日本商工会議所会頭）から委嘱され、奉祝委員を務めている。

自民党「政策懇談会」で要望

全印政連の木村篤義会長と生井義三幹事長は令和元年10月23日、東京都千代田区の自民党本部で開催された「予算・税制等に関する政策懇談会」に出席した。この日は全国商工会連合会をはじめ、中小企業関係団体8団体が招かれた。生井幹事長は、官公需での適正価格実現について要望を述べた。

自民党「懇談会」へ出席

自民党の組織運動本部（山口泰明本部長）は令和元年11月12日、東京都千代田区のザ・キャピトルホテル東急で、友好団体の実務担当者との「懇談会」を開催した。印刷業界からは全印政連の生井義三幹事長が出席した。自民党からは山口本部長のほか、小淵優子本部長代理、櫻田義孝団体総局長らが出席した。

商工組合の政治活動Q&A連載④

Q 印刷組合が別組織として政治連盟を設立する場合、印刷組合の代表者が政治連盟の代表者を兼務することは可能でしょうか？

A 兼務することは可能です。中団法、中協法で定める「政治的中立の原則」に抵触しませんので、兼務することは可能です。

（総務省、中小企業庁からの回答をもとに作成）

2019年国内外10大ニュース



国会議員も
中小企業支援

全印政連の活動に期待

次代へ思いをつなぐ印刷

自民党 衆議院議員 津島 淳



全日本印刷産業政治連盟の皆様には、恙無く新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

私事で恐縮ですが、私の祖父は作家太宰治です。だからというわけではありませんが、私は読書が大好きです。読むなら、やはり紙に印刷された書籍に限ります。特に、新刊本は、紙から香るインクが読書の喜びをかきたて、想像の世界へと誘ってくれます。

デジタル社会の到来などと世に喧伝されていますが、印刷物の風情は決して無くしてはならないものです。今後とも、微力ですが、皆様のために汗をかいてまいります。

結びに、全日本印刷産業政治連盟の益々のご発展と皆様のご健勝でのご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

「発注の平準化」「適正な納期設定」「消費増税分の転嫁確保」3点セットが、現場を救う

自民党 衆議院議員 斎藤 洋明



新潟県の衆議院議員、さいとう洋明です。令和元年9月の内閣改造で、総務大臣政務官を拝命致しました。全日本印刷産業政治連盟の皆様には、日ごろより格段のご支援と、御指導をいただき心より感謝申し上げます。

さて、私は元国家公務員で、公正取引委員会で下請取引や消費税増税分の転嫁確保などの実態調査や取引適正化に取り組み、また出向先の内閣府でも各府省等の発注改革に取り組んだ経験から、印刷業をはじめと

する諸産業の取引環境の確保に強い関心を持っております。

印刷業は装置産業であり労働集約産業でもあり、投資を回収し「働き方改革」に対応するためにも、長期的に安定した取引ができなければなりません。政治の責任として取り組むべきは、「発注の平準化」「適正な納期設定」「消費増税分の転嫁確保」の3点セットです。

中小規模事業者が多く、かつ取引上弱い立場に立たされることの多い印刷業にあっても、適正利潤の確保ができるよう、こうした諸課題にしっかり取り組んで参ります。

ともに時代の荒波を

自民党 衆議院議員 古川 康



全日本印刷産業政治連盟の皆様にはいつもお世話になっており、心から感謝を申し上げます。私は2003年から11年にわたって佐賀県知事を務めておりましたが、その中で取り組んだのが、県からの印刷物の発注に際して、最低制限価格制度を導入する、ということでした。

当時は、印刷物にこの制度を導入した都道府県はほとんどなく、知事就任後、価格のみの競争がもたらす様々な弊害を時折感じていたところでしたので、思い切って制度導入に踏み切りました。及ばずながら印刷業界の健全な発展に寄与できたのではないかと思います。

そしていまは与党の国会議員となりました。立場こそ変わりましたが、働き方改革、デジタル印刷への対応など求められる変化は様々な中、中小企業が中核を成すこの業界が時代の荒波を乗り越えていくことができるように取り組んでまいります。これからも皆様方の応援団として全力で頑張ります。

Word

- 1位 香港で反政府デモ激化、区議選は民主派圧勝
- 2位 日韓関係さらに悪化
- 3位 米中貿易摩擦、一段と
- 4位 英、1月にEU離脱へ
- 5位 米朝会談、非核化進まず
- 6位 INF廃棄条約失効
- 7位 核合意巡る米イラン対立激化
- 8位 グレタさんが国連演説
- 9位 ノートルダム寺院で火災
- 10位 トランプ大統領、弾劾訴追

Japan

- 1位 天皇代替わり、平成から令和へ
- 2位 相次ぐ台風、列島被害甚大
- 3位 京アニ放火殺人、36人死亡
- 4位 消費税率10%に
- 5位 ラグビーW杯、日本8強
- 6位 関電幹部に町元助役から金品
- 7位 参院選で改憲勢力3分の2割れ
- 8位 首相在任最長、「桜を見る会」疑惑
- 9位 沖縄の首里城が炎上
- 10位 ゴルフ渋野が全英制覇

南日本新聞より(2019年12月27日)

組合関係参加者

- (株)朝日印刷**
代表取締役 前田 城 輔 ⑬
取締役生産管理本部長 野上 宗 一 ⑬
取締役営業本部長 小長 郁 夫 ⑬
執行役員資材管理室長 永井 弘 毅 ⑬
システム管理室長 牛濱 康 博 ⑬
営業部次長 手島 洋 人 ⑬
生産管理本部次長 有馬 鉄 郎 ⑬
- 天野印刷(株)**
代表取締役 天野 玄 一 ⑯
専務取締役 天野 完 二 ⑯
- エス・パックス(株)**
常務取締役 武田 康 吾 ⑤
営業一課課長 入部 陽 介 ⑤
- オダ精巧社印刷(株)**
代表取締役 三重野 孝 一 ⑤
- 鹿児島県印刷工業団地協同組合**
専務理事 楠元 秋 美 ⑱
- かわち印刷(有)**
代表取締役 河内 志 郎 ⑯
- (有)錦江印刷**
代表取締役 岩倉 克太郎 ⑳
- キャノンマーケティングジャパン(株)**
鹿児島営業所長 小牟禮 利 光 ⑥
弘 中 隆 博 ⑥
- コニカミノルタジャパン(株)**
大下 俊 則 ⑩
- (株)共同紙販ホールディングス**
代表取締役社長 郡 司 勝 美 ⑫
常務執行役員 金谷 吉之助 ⑫
執行役員鹿児島支店長 小齐平 均 ⑫
営業部副部長 上原 康 治 ⑫
営業部次長 小西 哲 也 ⑫
- 児島洋紙(株)**
取締役社長 立野 孝 二 ⑤
相談役 安部 城 治 ⑤
鹿児島営業所所長 梶井 秀 一 ⑤
鹿児島営業所課長代理 小吹 健太郎 ⑤
- (有)笹山印刷**
代表取締役 笹山 雄 司 ⑳
- (有)新光印刷**
代表取締役 宮 武 秀 一 ⑳

- (有)創文社印刷**
取締役専務 二町 孝 之 ⑱
- (株)千代田サブライ**
営業部長 古賀 俊 徳 ⑱
営業長 谷 昇 ⑱
- (株)トライ社**
代表取締役 濱田 眞 民 ⑫
取締役 黒瀬 廣 幸 ⑫
取締役 山口 慎 吾 ⑫
- 日進印刷(株)**
代表取締役社長 二之宮 進太郎 ⑭
専務取締役 平野 知 宏 ⑭
取締役製造部長 児玉 淳 二 ⑭
営業部部長 渡辺 輝 人 ⑭
- 濱島印刷(株)**
代表取締役社長 前田 幸 一 ④
営業部課長 吉留 洋 平 ④
- プリントネット(株)**
代表取締役社長 小田原 洋 一 ⑯
マーケティング部室長 鳥丸 正 美 ⑯
- (有)ブロックスタジオ**
代表取締役 安田 孝 治 ④
- (株)益山印刷**
代表取締役 益山 正 義 ②
- 南日本印刷材料(株)**
代表取締役 池田 輝 幸 ⑦
- (株)南日本新聞開発センター**
編集制作部長 沼 伸次郎 ⑨
営業部副部長 溝 潤 ⑨
- (有)モタニ印刷**
代表取締役 茂谷 浩 司 ④
- (有)山之内印刷**
代表取締役 中島 健 治 ④
- 協業組合ユニカラー**
理事長 岩重 昌 勝 ①
専務理事 鈴木 順 子 ⑮
常務理事 新 勝 彦 ⑮
営業部部長 生野 忠 男 ⑮
営業部次長 大山 保 ⑮
管理課課長 東 文 孝 ⑮
枚葉印刷課課長 新山 治 ⑮
輪転印刷課課長 荷 福 敦 ⑮

- 仕上課課長 元 雄 一 ⑮
メディアコンテンツ課課長 堀之口 嘉 希 ⑮
製版課課長 下笠 幸 喜 ⑮
- リコージャパン(株)**
事業戦略部長 上迫田 仁 ⑮
リーダー 永野 真 一 ⑮
井上 聰 子 ⑮
- (株)レイメイ藤井**
代表取締役社長 藤井 章 生 ⑥
専務取締役洋紙事業本部長 西野 慎 一 ⑥
- (株)レイメイ藤井鹿児島支店**
取締役支店長 中城 幸 司 ⑥
洋紙部部長 濱口 隆 義 ⑥
洋紙部課長 江口 修 一 ⑥
洋紙部リーダー 田中 公 平 ⑥
- 富士ゼロックス鹿児島(株)**
営業統括部グループ長 永井 龍太郎 ⑪
大田 裕 之 ⑪
- (株)イースト朝日**
代表取締役会長 東垂水 正 昭 ⑦
取締役社長 東垂水 美代子 ⑦
取締役副社長 中山 龍 一 ⑦
専務取締役 末 永 信 一 ⑦
営業本部長 戸島 和 明 ⑦
営業部長 竹下 賢 治 ⑦
- (有)高崎製本**
代表取締役 高崎 勝 喜 ⑱
- (株)あすなろ印刷**
専務取締役 加世堂 雅 樹 ⑧
営業 廣 田 龍 ⑧
- (株)キングコーポレーション**
鹿児島支店長 宮園 芳 秋 ⑨
係長 田中 清 貴 ⑨
- 大阪シーリング印刷(株)鹿児島営業所**
営業2課課長 鮫島 慶 太 ⑳
- (株)新生社印刷**
代表取締役社長 岡崎 洋 人 ③
- (有)日之出印刷**
代表取締役 内匠屋 茂 穉 ⑨
- (有)奄美共同印刷**
代表取締役 前平 彰 信 ⑨

関連業界ご芳名

- (株)網中**
代表取締役 網中 裕 城 様 ③
鹿児島支店支店長 大串 隼 人 様 ③
鹿児島支店主任 神園 絢 也 様 ③
- (株)池田紙器工業**
代表取締役社長 池田 和 隆 様 ⑯
- 王子製紙(株)九州営業支社**
支社長 石井 敏 様 ④
- 九州印刷材料協同組合**
理事長 樋口 幸 嗣 様 ③
顧問 土井 健 二 様 ③
- 九州大日精化工業(株)**
代表取締役社長 伊藤 聡一郎 様 ④
部長 中村 巧 様 ④
- 旭洋(株)福岡支店**
副支店長 岩成 忍 様 ④
課長代理 新納 亮 様 ④
- (株)光文堂熊本営業所**
所長 佐々木 浩 二 様 ⑯
- 国際紙パルプ商事(株)九州支店**
執行役員支店長 橋本 昌 仁 様 ⑧
- コダックジャパン**
九州営業所所長 三角 淳 一 様 ⑧
- (株)小森コーポレーション**
九州支店支店長 細野 英 樹 様 ③
九州支店営業 石井 勝 久 様 ③
- (有)さつまグレーニング**
代表取締役 須ヶ牟田 和 幸 様 ⑳
- (株)SCREEN GP ジャパン**
福岡支店長 川口 博 文 様 ⑪
- ダイヤミック(株)**
鹿児島営業所所長 吉留 勝 義 様 ⑤
- 中越パルプ工業(株)**
川内工場次長 松元 孝 夫 様 ④
福岡営業所長 品川 英 紀 様 ④
- (株)T&K TOKA**
営業 石井 謙 佑 様 ⑱
- DICグラフィックス(株)**
九州支店長 富永 詞 人 様 ⑧
鹿児島営業所長 藤村 徹 様 ⑧

- トーヨーカラー(株)**
顧問 木戸 清 高 様 ⑩
- 東洋インキ九州(株)**
代表取締役社長 古林 靖 夫 様 ⑩
取締役営業本部長 米村 公 秀 様 ⑩
南九州営業所長 矢野 博 祥 様 ⑩
- 西日本製本機材(株)**
営業部部長 川井 伸 司 様 ⑱
技術部部長 竹内 充 人 様 ⑱
- 日米礦油(株)鹿児島支店**
販売課係長 森園 公 一 様 ⑰
- 日宝綜合製本(株)**
取締役部長 満石 年 春 様 ⑩
営業係長 野口 貴 夫 様 ⑩
- 日本紙パルプ商事(株)九州支社**
営業一部部長 高城 敏 博 様 ⑨
- 日本製紙(株)九州営業支社**
支社長代理 齋 勝 吾 様 ⑨
- (株)日本 HP**
デジタル事業本部セールススペシャリスト 小松 秀 徳 様 ⑧
- ハイデルベルグジャパン福岡支店**
アカウントマネージャー 安部 讓 二 様 ⑧
- 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)**
九州支店長 白方 勝 三 様 ⑪
- (株)ふちかみ**
常務取締役 宮原 卓 治 様 ⑱
営業部長 宮脇 和 広 様 ⑱
- 丸住製紙(株)**
九州支店長 松木 潤一郎 様 ⑪
- (株)ムサシ**
課長 坂田 稔 明 様 ⑪
- (株)モリサワ**
所長 田之江 安 俊 様 ⑪
新屋 僚 太 様 ⑪
- リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)**
福岡支店長 平野 英 典 様 ⑱
主席 池田 信 吾 様 ⑱

※お名前の中の後の番号はテーブル番号です

※お名前の中の後の番号はテーブル番号です



祝宴プログラム

Performing at celebratory seats

香月 保乃(かつき やすの)ボーカル

宮崎県出身。幼少よりピアノを、中学よりユーフォニアムを始める。学生時代よりソリストとして数多くの賞を受賞。

国立音楽大学へ入学、ユーフォニアムクラシカルパフォーマンスを専攻。アンサンブル活動、ソリストとして吹奏楽バンドと共演するなど幅広く演奏活動を展開する傍ら、指導者としても活躍。また、在学中にボーカルとしての活動も始動させる。

音楽への興味はクラシックに止まらず、ジャズの音楽理論を独学で学んだのち、本場で研鑽を積むためアメリカへ留学。クイーンカレッジにて学位を授与、優秀な学生に送られる名誉ある賞を数多く受賞。

一時帰国中の現在、地元宮崎を拠点に海外アーティストを招聘した公演や、様々なグループへの賛助演奏、次世代への始動など、精力的に活動を展開している。ユーフォニアム、トロンボーン、そしてボーカルもこなす逸材として注目を集めている。



松本 圭使(まつもと けいし)ピアノ

鹿児島県出身。幼少よりピアノを、18歳より演奏活動を開始するも、ジャズを学ぶためニューヨークへ留学。帰国後は、鹿児島拠点にこだわりながら、CDの全国リリースや様々なグループでの関東・九州公演など全国規模で活動を展開している。これまで自身のピアノトリオアルバムとして「The Other Side Of It」「LIFE ABOVE DEE」、今年10月に待望のサードアルバム「WITHIN THE CROWD」を風テラスあくねにてレコーディングし、全国発売。ジャズの全国誌であるJAZZ JAPANに見開きで特集されるなど話題になる。

2014年『モントルー・ジャズ・ピアノコンペティション・インかわさき』ファイナリスト。音楽による地域活性化事業、鹿児島大学ジャズバンド部セミナー等を主宰。2017年第42回鹿児島市春の新人賞をジャズ部門で初受賞。これをきっかけに、「鹿児島ジャズフェスティバル」を立ち上げ、昨年9月に開催された第3回目では67,000人の動員を記録。同イベントの発起人かつ実行委員長を務める。

鹿児島在住ながら全国に圧倒的な存在感を示し続けている。



Happy Industry

人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業



私たちは健全な森林を保全するため、
間伐材(鹿児島産)竹パルプ100%の
環境に配慮した紙を使用しています。

(本文ページは竹紙 100 ホワイト使用)



鹿児島県印刷工業組合

〒892-0847 鹿児島市西千石町12番27号
TEL 099-222-1839 FAX 099-223-1463
URL <http://www.kapia.jp> E-mail p-office@kapia.jp